



**つぶやくだけで広がる  
コミュニケーションツール  
今もなおユーザー数急増中！！  
「twitter」基礎講座**

上原 拓巳

#### ■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。  
本冊子の著作権は、発行者にあります。  
本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

#### ■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

#### 第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

#### 第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

#### 第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

#### 第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

#### 第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。また、このレポートに書かれた情報は、作成した時点のもので、価格の変動やリンク先の変更などが行われる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

■推奨環境

このレポートに記載されているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderを下記のページよりダウンロードしてください。

(無料)

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

\*\*\*\*\*



では、本編に入りましょう。

## ■ 「twitter」の登録と基本的な使い方

ここでは、ここ数年で急速に普及したコミュニケーションツール「twitter」の開設方法と、「twitter」の基本的な使い方について説明します。

「twitter」とは、「今何をしている？」という質問に対して、リアルタイムでチャット形式で答えていき、その答えについてたくさんのユーザー同士にてインターネットでチャット返信したりできる、チャットとブログを足して2で割ったようなミニブログです。

最近では芸能人や有名人も多数利用する程ユーザー数が激増、コミュニケーションツールとしてすっかり定着しました。

「twitter」に関する本やブログ、無料レポート、フォロワーを増やしていくツール類は数多く出回っていますが、このマニュアルでは、

- ・ 「twitter」の登録方法

- ・ 「twitter」の基本的な使い方

を説明していきます。

登録自体は難しくありませんし、操作方法も慣れると簡単ですので、是非ともチャレンジしてみましょう。

では早速、まずは「twitter」を開設してみましょう。

### 【twitterの開設方法】

1. 「twitter」のHPへアクセスします。

⇒ <http://twitter.com/>

【つぶやくだけで広がるコミュニケーションツール  
今もなおユーザー数急増中！「twitter」基礎講座】

2. 以下の画面が表示されましたら、「今すぐ登録」をクリックします。



3. アカウムの作成画面に移るので、各情報を入力していきます。



**名前**

ユーザーページのプロフィール(右上)等に表示される名前を入力します。

**ユーザー名**

ユーザー名を指定します。

こちらはログイン時に使用するほか、ユーザーページページの URL ([http://twitter.com/\[ユーザー名\]/](http://twitter.com/[ユーザー名]/)と なります。) としても使われます。

使える文字は半角の英数文字とアンダーバー(\_)です。

なおユーザー名は重複不可のため、既に同じユーザー名のユーザーが存在する場合はエラーとなり、別の名前を指定する必要があります。

### パスワード

ログイン時に使用するパスワードを指定します。(6文字以上)

### メールアドレス

登録の確認や、各種通知の受け取りに使用するメールアドレスを指定します。

この下の「他のユーザーがメールアドレスを手がかりに探せるようにする」にチェックをすると、たとえば Gmail のアドレス帳などから他のユーザーがあなたを見つけることができるようになります。(見ず知らずの他人に直接メールアドレスが知られるというわけではないです。)

この設定は後から変更可能です。

### サービス利用規定

Twitter を利用するにあたっての利用規定とプライバシーポリシーです。より見やすい Web ページ上(利用規定、プライバシーポリシー)で確認するのがよいでしょう。

※一番下の「新機能の追加などに関する、Twitterからのお知らせメールの配信を希望」にチェックをしておく、最新のお知らせメールが送られるようになります。(2010年現在では、数ヶ月に1度程度です。)

以上の情報をすべて入力し終わりましたら、**「アカウントを作成する」**をクリックします。

4. 機械的な処理を防ぐための暗号入力画面が表示されますので、画面に表示されている英数字による2つの単語を入力して**「登録を完了」**ボタンをクリックします

(わかりにくい場合は右側の「2つの単語を更新」をクリックします。)



5. 以上でアカウント登録が完了ですが、続いて初期設定を行う画面が表示されます。

ここでは有名人や企業のアカウントなど興味のあるユーザーを探してフォローしたり、知り合いのアカウントを探したりすることができます。





【つぶやくだけで広がるコミュニケーションツール  
今もなおユーザー数急増中！「twitter」基礎講座】



この部分は省略する事が出来ます。  
省略したい場合は、画面最下部の青いボタンをクリックします。

6. 登録時に入力したメールアドレスにユーザー登録を確認するメールが送られて来ますので、そのメールに書かれている URL をクリックしておきます。

以上で「twitter」のユーザー登録作業は完了です。

お疲れ様でした。

## 【twitterの基本的な使い方】

ここでは、「twitter」の基本的な使い方を説明していきます。

### ◇ツイート

登録が終わりましたら、早速何かツイートしてみましょう。  
使い方はとても簡単で、テキストボックスに 140文字以内で書きたい事を書いて「ツイート」ボタンをクリックするだけです。





すると下のリストに自分の発言が追加されていきます。

このツイートが「twitter」の基本中の基本です。

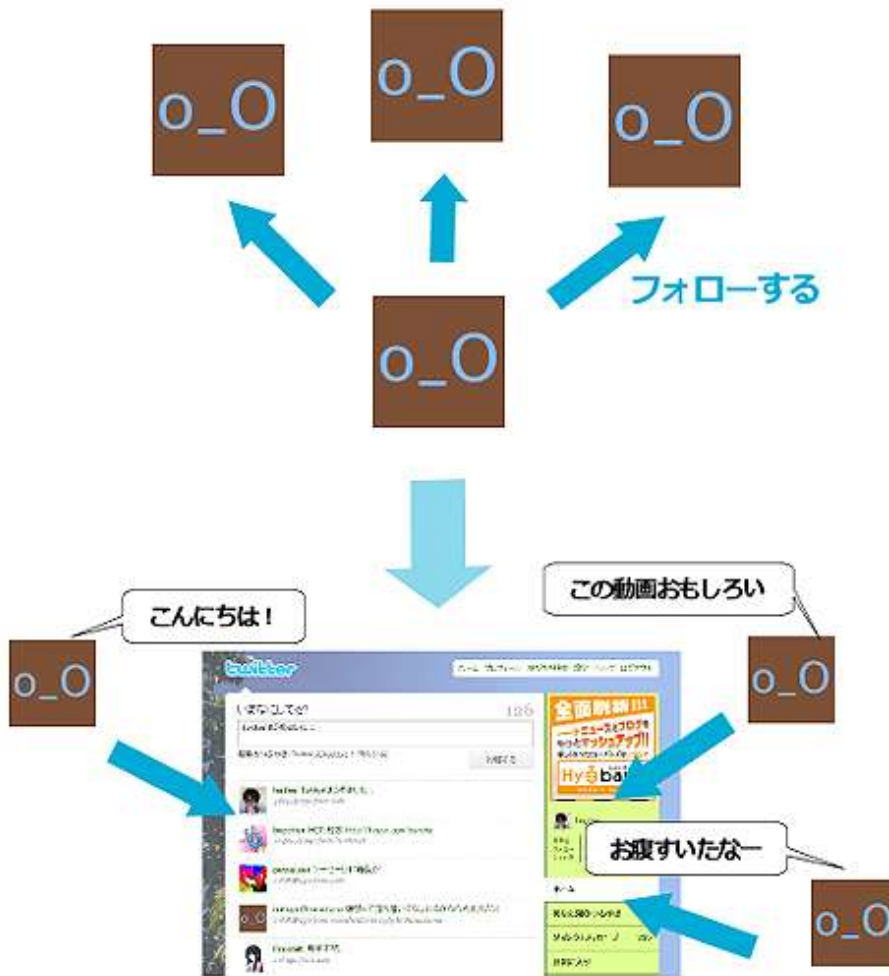
ですが、このままでは単なる独り言になってしまいます。

そこで、次で紹介するフォローという操作によって他のユーザーとのコミュニケーションが行えるようになり、Twitterの楽しみや活用方法がグンと広がります。

## ◇フォロー

「twitter」では、「フォロー」という操作を行うことで、他のユーザーの発言を自分のホームページに表示させることができるようになります。

イメージとしては、こんな感じになります。



フォローを行いますと、相手側にメールで通知されますので、それを見て相手もフォローをするかどうかを判断する事ができます。

(また自分をフォローしているユーザーを確認する事もできます。)

フォローは一見するとmixiの「マイミク」に似ている感じがします。

ですが「マイミク」と違う点は、

- ・自分から相手へ一方的に登録するだけ
- ・基本的に許可は必要ない
- ・フォローし返す必要がない

という点です。

mixiの「マイミク」の場合、登録するとその相手に通知が届き、「マイミク」になる事を許可する事で、お互いが「マイミク」同士となりますが、「twitter」ではフォローすると、その瞬間からフォローした事になり、特に相手の許可などは必要ありません。

また、フォローした相手にはメールにより通知されますが、相手が明示的に自分の事をフォローし返さない限り、自分の発言は相手のホームページには表示される事はありません。

このシステム、ちょっと抵抗を感じるかもしれませんが、「twitter」では知らない人でも気軽にどんどんフォローしましょうというのが慣例になっています。

mixiのようなマイミク申請のメッセージなどはありません。

また、フォローを辞めたり、フォローし返すかどうか、個人の自由です。

このゆるい感じが SNSなどの密なコミュニケーションツールと違うところであり、Twitterの魅力であったりします。

なので、気になる人がいたら気軽にフォローをしてみましょう。

(なお、上記の点は後述のプロテクトやブロックを行っているユーザーに対しては当てはまりません。)

フォローの仕方です。

- ① フォローしたいユーザーのページを開きます。  
(リンクや URL [http://twitter.com/\[ユーザー名\]](http://twitter.com/[ユーザー名])にアクセス  
できます。)
- ② アイコンの下に「フォローする」というボタンがあるので、  
これをクリックします。

【つぶやくだけで広がるコミュニケーションツール  
今もなおユーザー数急増中！「twitter」基礎講座】



これで、そのユーザーをフォローしたことになり、ホーム画面にこのユーザーのツイートも表示されるようになります

なお、フォローを解除するには、画面右側の歯車マークのボタンをクリックした後に、メニュー内の「●●●●●（ユーザー名）のフォローを解除する」をクリックします。



また、後述の非公開設定を行っているユーザーはフォローボタンをクリックしてもすぐにはフォローできず、相手の許可を受ける必要があります。

◇返信

twitterには、特定のユーザーに向けてツイートを送る返信という機能があります。

返信の仕方は「@[ユーザー名] [発言内容]」という形で記述して発言をします。(@は半角、ユーザー名とコメントの間に半角スペース)

@[ユーザー名]をつけて投稿すると、そのユーザー宛での発言(返信)という扱いになり、相手のホーム画面や「あなた宛のつぶやき」の中に表示されます。

例えば「@tsubaki こんにちは」という形で送ると、tsubaki宛てに「こんにちは」と話しかけたことになります。

また、タイムライン上のツイートにマウスを移動すると表示される「返信」メニューをクリックしても返信が行えます。



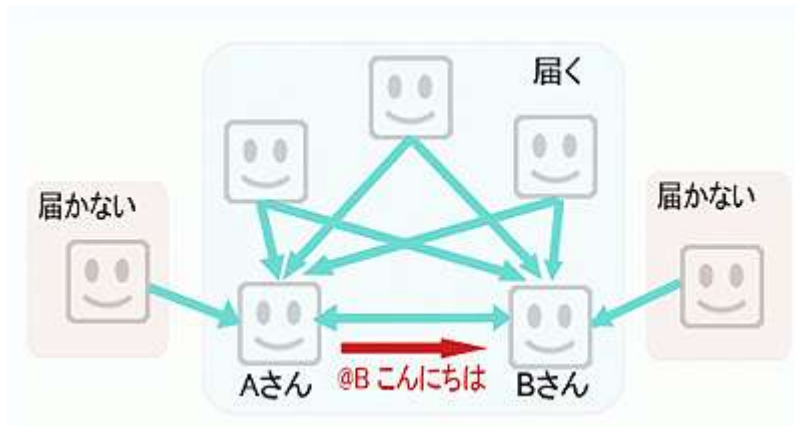
「返信」メニューをクリックすると、ツイートの入力ウィンドウに@[ユーザー名]が入力された状態になって表示されます。この後ろに続けて返信内容を入力します。



※@[ユーザー名]の部分を削除してしまうと、正しく返信扱いにならないので注意してください。

ちなみに返信は、@で指定したユーザー以外にも、そのユーザーと自分が共通してフォローしているユーザーにも伝わります。

(下の図を参照。)



青い線がフォローのつながり。

Aさんが Bさんに「@Bさん こんにちは」と送ると、上の青く囲まれた範囲のユーザーに届く。Aさん、Bさんに共通していない両脇のユーザーには届かない。

また、個人ページ([http://twitter.com/\[ユーザー名\]](http://twitter.com/[ユーザー名]))上でも表示されます。

なので、プライベートな会話にはあまり使いません。

逆に他のユーザーにも見えることになるので、Twitter上でがやがやおしゃべりするような感じで使うのがよいでしょう。

### ◇ダイレクトメッセージ

もっとプライベートな内容のメッセージを送りたい場合には、ダイレクトメッセージを利用します。

これは特定のユーザーに直接送られるメールのような感じのメッセージで、他のユーザーからは見えません。

また、このダイレクトメッセージを受け取ると、その旨を知らせる通知メールも同時に送られます。

但し、ダイレクトメッセージを送るには、相手が自分のことをフォローしている必要があります。

(自分が相手をフォローしていなくても送れますが、その場合は相手が返信できません。)

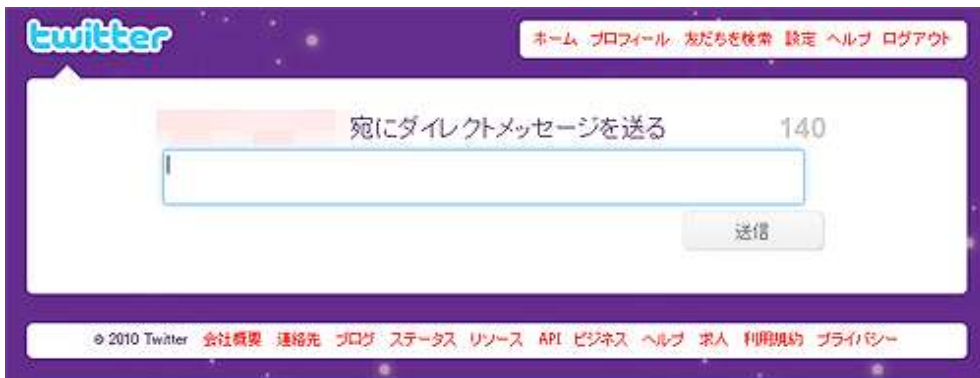
ダイレクトメッセージの送り方です。



- ① 送信相手のページを開き、画面右側の歯車マークボタンをクリックした後に、「●●●●●（ユーザー名）ダイレクトメッセージ」をクリックします。



- ② クリックすると、下の画面が表示されますので、ここに送りたいメッセージを入力して「送信」ボタンをクリックすると、送信が完了します。



また、画面右側サイドバー中央部の「ダイレクトメッセージのみ」をクリックすると、これまでに送受信をしたことのあるユーザーが一覧で表示され、そこからユーザーをクリックするとこれまでやり取りしたメッセージの内容を確認したり、新たにメッセージが送れる画面が表示されます。





### ◇リツイート

自分のフォローしている誰かが何か面白い内容や役立つ情報をツイートしていた時は、リツイート(RT)という機能を使ってその内容を広めることができます。

リツイートの方法です。

- ① タイムライン上のリツイートしたいツイートにマウスカーソルを合わせ、表示される「リツイート」というリンクをクリックします。

【つぶやくだけで広がるコミュニケーションツール  
今もなおユーザー数急増中！「twitter」基礎講座】



- ② 「リツイートしますか？」というメッセージが表示されますので、「はい」というボタンを押せばリツイートが完了し、あなたのタイムライン上にその内容が流れます。



「元に戻す」をクリックしますと、リツイートを取り消すこともできます。

この内容はリツイートをしたユーザーをフォローしているユーザーのタイムラインにも表示されますので(リツイート元のユーザーをフォローしていない人にも表示されます。)、リツイートが繰り返されることによって、その内容がフォロー関係を伝わってより多くの人に広まっていくこととなります。

また、他の人がリツイートしたツイート、他のユーザーによってリツイートされた あなたのツイートの一覧なども確認出来ますので、話題になっているツイートやあなたのツイートの影響度などを知ることできます。

### ◇プロテクト、ブロック、スパム報告

基本的にはオープンでゆるい感じの「twitter」ですが、中には自分の発言を見せるのを友達に限定したり、あるユーザーに発言を見せたくない、というケースも存在するかと思います。

その場合にはプロテクト、ブロック、そしてスパム報告という機能を利用します。

### ●プロテクト（非公開）

非公開設定は、自分の発言をフォローしている人にだけ公開するよう出来る設定です。

非公開に設定すると、自分が フォローしているか、自分の事をフォローしているユーザーにだけ自分の発言が表示されるようになります。

(フォローしてない、されてないユーザーからは発言が見えなくなります。)

また、ホーム画面上や個人ページの名前の部分にカギマークが表示され、protect設定が有効になっていることが伝わります。

さらに、まだフォローしていないユーザーが新たにフォローを行うと、メールで通知が送られてきて、フォローを許可するかどうかを指定することができます。

非公開の設定の仕方です。

- ① 画面右上の「設定」をクリックします。



- ② 画面下のほうに「ツイートプライバシー」の項目がありますので、  
「ツイートを非公開にする」にチェックを入れ、「保存する」をクリックします。



- ③ パスワード入力画面が表示されますので、ログイン時のパスワードを入力して、「変更を保存」をクリックします。



この設定を行いますと、フォローしあっていないユーザー(自分のことをフォローしているが、自分はフォローしていないユーザー)が全てフォロー解除されます。

(つまり、お互いにフォローしあっているユーザーのみが残る事になります。)

非公開設定を解除する場合は、上と同様の操作を行い、手順②でチェックを外します。

## ●ブロック

ブロックは特定のユーザーに対して行う設定で、そのユーザーのツイートを自分のホームに表示させない、または自分の発言をそのユーザーのページで表示させないようにすることができます。この機能を使うような状況はあまり好ましいとはいえませんが、悪質な迷惑行為にあった場合などに利用してみるとよいでしょう。

ブロックの方法です。

- ① 対象ユーザーのページを開き、画面右上の歯車マークのボタンをクリックした後、「●●●●●（ユーザー名）をブロック」を選択します。



- ② ユーザー画像の下に「ブロック中」と表示され、ブロックが完了します。



ブロックすると、相手からのフォローと自分からのフォローも同時に解除されます。また、その相手からは自分のツイートを見る事が、フォローをしようとする時ブロックされているというエラーが表示されるようになります。

(なお、ブロックしていてもブロックしたユーザーがリツイートした別のユーザーの発言については表示されてしまいますが、これは仕様のようなのです。)

解除するには、対象のユーザーページを開き、「ブロック中」表示の右側にある「元に戻す」をクリックします。



### ●スパム報告

スパム報告は過剰な企業の宣伝や好ましくない商用サイトへの誘導など、いわゆるスパム行為を行っていると思われるアカウントをスパムであると報告する機能です。

スパム報告を行うと そのアカウントをブロックすると同時に Twitter のスパム対策チームにレポートが送信されます。そして Twitterによって不正な活動を行っていると判断された場合はそのアカウントが凍結されます。  
(必ず凍結されるわけではありません。)

スパム報告の方法です。

- ① 対象ユーザーのページを開き、画面右上の歯車マークのボタンをクリックした後、「●●●●●(ユーザー名)をスパムとして報告」を選択します。





- ② 解除する場合は、対象のユーザーページを開き「ブロックとスパムとして報告しました」表示の右側にある「元に戻す」をクリックすれば、ブロックとスパム報告状態が解除されます。

#### ◇フォローユーザーを増やす

twitter の醍醐味はやはりフォローする人を増やして、様々な情報を収集したり、多くの人とコミュニケーションを取ったりできることでしょう。

twitter でのフォローの増やし方としては主に、

- ・webメールなどからユーザーを探す
- ・他のユーザーからの返信、フォローしている人、お気に入りからユーザーを探す
- ・お勧めユーザー機能から探す
- ・コミュニティサイトや外部ツールで探す

などの方法があります。

ここでは詳細説明を省きますが、詳しい方につきましては、ネット上や無料レポートで多く紹介されていますので、これらを参考にしてみるといいでしょう。

#### ◇「twitter」を楽しむためのポイント

twitterを楽しむには、いくつかのコツがあるように思います。



ここでは個人的な Twitterを楽しむためのコツをご紹介します。

### ① フォローを増やすユーザーを増やそう

とにかくまずはいろんなユーザーをフォローしてみましょう。  
最初の目安としては 100人くらいを目標にフォローしてみるの  
いいと思います。

フォローをしていくと相手に通知が行くので、自分をフォローして  
くるユーザーも増えていき、色んな人とコミュニケーションがとれ  
るようになります。

### ② 全てのつぶやきを追いかけようとしない

フォロワーを増やすと、タイムラインにはいろんな人のつぶやきが  
大量に流れてくることになり、最初はわけのわからない状態にな  
ると思います。

そこでのコツは、全ての話題を追いかけようとしないことです。  
ポーッと発言を眺めて、何か面白そうな話題があった時だけ、その  
人の発言を追いかけたり、返信機能で話しかけてみましょう。  
誰かと会話しているようなら、その相手をフォローしてみるのも  
よいかもしれません。

逆にあまり話が合わないユーザーだったらフォローを解除しても  
いいでしょう。

こうして、うまく自分の好みの話題をピックアップしたり、面白  
そうなユーザーを増やしていくことで、徐々にタイムラインに  
流れてくる話題も自分にあったものが集まってくるようになります。

### ③ 「twitter」用クライアントやサービスを使ってみよう

「twitter」に慣れてきましたら、各社出しているクライアントや  
サービスを活用することで、より Twitterを便利に使うことができ  
るようになります。

### ③ 最低限のマナーを守る

Twitter はどんな知らない人とも気軽にコミュニケーションが  
取れるのは大きな魅力です。

ですが、だからこそ最低限のマナーは守るべきでしょう。

例えば、全く知らない人に突然プライベートな質問をしたり、  
有名人に罵声を浴びせるなどといった、twitter 限らずインターネット  
全般、さらには社会生活において見ても、問題がある発言は避けるべき  
でしょう。

こうしたツイートは非公開設定にしない限りはインターネットを通じ  
て全世界に公開された状態です(フォローされていないなくても、URL さえ  
わかれば見る事ができます)。

更に今はリツイートによって、どんな発言も広まる可能性があります。  
フォロワーは知り合いのみだから大丈夫、などと軽い気持ちで発言した  
ツイートも一瞬にして世界中に広まる可能性があるのです。

**twitterのアカウントの先にも人が居る**という点を意識して、良識的な  
Twitter ライフを楽しみたいものです。

以上が、「twitter」の開設方法と、「twitter」の基本的な使い方についての説  
明でした。

「twitter」は今後更にユーザー数が増えると思われるコミュニケーションツ  
ールです。

そして「twitter」は既にビジネスツールの一部としても活用されており、  
今後更にビジネスツールとして使用される場面が増える事でしょう。

「twitter ってイマイチ良く分からないんだよね～」という方は、この機会に  
「twitter」に慣れておく事を是非ともお勧めします。

お疲れ様でした。



最後までお読み頂き、ありがとうございました。

いかがでしたでしょうか。

私も、最初はネットビジネスで稼げるなんて、思っていませんでした。  
でも、あきらめずにやって来た、続けて来たから、稼げるようになりました。

あなたもあきらめずに続ければ、必ず稼げるようになります。  
ぜひ、頑張ってください。応援しています。

#### 【発行者情報】

発行者 上原 拓巳

メールアドレス [info@asunoyume.com](mailto:info@asunoyume.com)

ホームページ [明日の夢ネット起業塾](#)

※人気ブログランキング・カテゴリー1位獲得

※FC2 ブログランキング・カテゴリー1位獲得

メルマガ [ブログで月収5万円稼ぎ出す秘密の方法](#)